

平成30年度 租税教育に関する研究発表要項

山元町立山下第一小学校

教諭 名取 富江

1 研究主題

児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫
～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の学習を通して～

2 主題設定の理由

6学年の児童にとって税に関する知識は、歴史の学習における「租・庸・調」や「年貢」、「地租改正」といったものがほとんどである。また、日本国憲法の学習にもまだ触れていない児童にとって、納税の義務が国民の三大義務に当たることは、分からないのが現状である。

そこで、5学年の段階で租税教室に参加し、税の基本的な知識に触れ、6学年において「わたしたちのくらしと税金」の副読本を使って税についての学習を行い、税金の種類や使われ方を調べる活動を設定することで、児童の興味・関心が喚起され、意欲をもって税金について学習に取り組めると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税金の種類や使われ方などを調べる活動を通して、税に対する物の見方や考え方もつことのできる学習活動をすれば、税に対する興味・関心を高めることができると考える。

4 研究の方法

- (1) 「租税教室」に参加し、税についての学習の導入を行う。
- (2) 小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」を活用する。
- (3) 興味・関心のある税金の種類について調べ、課題設定をする。
- (4) 課題について本やインターネットを使って調べ、友達と伝え合う。
- (5) 深く調べてみたい税金について類似課題同士でグループをつくり、調べ、まとめる。
- (6) 学級や下級生に発表し、調べた内容を共有したり、発信したりする。
- (7) 身近に税が使われていることを知り、税に関する意識の変容をまとめる。

5 研究計画

平成30年1月	租税教室（講師 鈴木隆さん 日下重紀さん）
平成30年5月	実態調査
6月	授業実践①
10月	授業実践②
11月	授業実践（総合的な学習）研究のまとめ 研究発表会

6 研究の概要

(1) 学習計画 (総合的な学習 10時間)

	次	主な学習活動	時数
5学年時	1	租税教室 (講師 鈴木隆さん 日下重紀さん)	1
6学年時	2	意識調査	
		授業実践「わたしたちの暮らしと税金」	1
		税金の種類について調べ、課題設定。(個人)	2
		課題解決のため、インターネットを使って調べる。(個人)	2
		課題別グループによるまとめ、発表会	3
	3	税金の使われ方を知る 意識調査	1

(2) 実践の概要

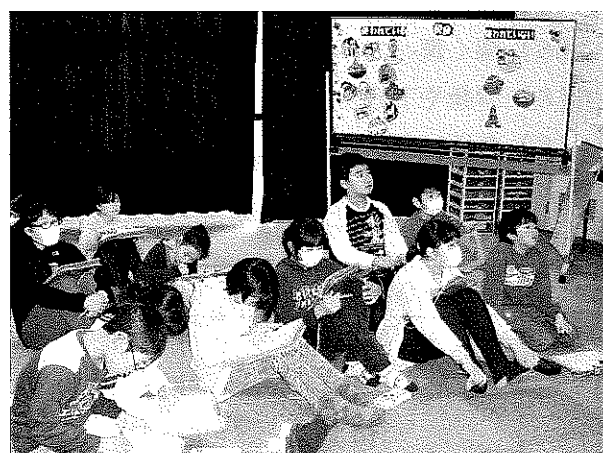
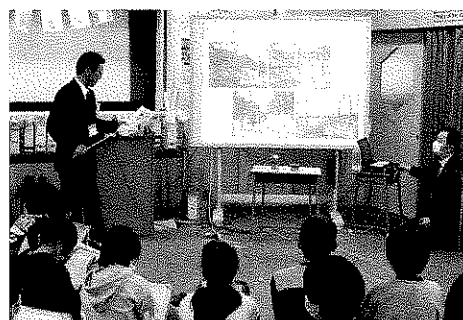
【第1次】5学年時：租税教室 (平成30年1月12日)

<講師：鈴木 隆さん 日下 重紀さん>

仙台南間税会の方においでいただき、スライドを使いながら税金とは何か、どんなことに使われているのかなど基礎的な税金の役割について詳しく教えていただいた。

DVD「マリンとヤマトの不思議な休日」の視聴では、税金がないとどのような暮らしになるのか知ることができた。

また税金を使っているものにはどのようなものがあるか、分類する活動を通して、より、税金がわたしたちの暮らしに役立てられていることを学ぶことができた。



●租税教室後の感想等

- ・税金がないと、火事になったときにたくさんのお金がかかり大変になる。
- ・わたしたちの生活の中には、税金を使っているものがたくさんあると感じた。
- ・外国にも消費税がある。
- ・道路や公園などの整備にも税金が使われていることが分かった。
- ・たばこにもお酒にも税金があることを知った。他にもどんなものがあるのか知りたい。

【第2次】6学年時

◎税に対する事前調査（平成30年度 6年1組 男9名 女8名 計17名）

平成30年6月実施

質問1 「税金」という言葉を知っていますか。	はい15名	いいえ2名
質問2 税金についてどんなものがあるか知っていれば書いてください。（複数回答可）	・消費税9名 ・たばこ税3名 ・関税2名 ・酒税2名 ・国税 ・所得税 ・固定資産税 ・復興税 ・森林税 ・	
質問3 納めた税金はどんなことに使われていますか。（複数回答）	教材 人を助けるため 国のこと 町のため みんなのため（くらしを守る） 公共の施設（国の建もの 学校 病院 公園） ライフライン（道路工事 信号機）	

上記の結果から、5年時に租税教育を受けたこともあり、「税金」という言葉を知っていると答えた児童がほとんどであった。また、税金がわたしたちの生活のために使われていることもつかんでいると言える。しかし、税金の種類はどれくらいあり、税がどこに納められ、使い方がどのように決められているのか分からない実態であるということが分かった。

そこで、税金の種類を調べる活動を通して、その税がどのような事業の財源となって、どのように使われているのかを理解させる必要があると考えた。

①わたしたちのくらしと税金（1時間）

小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」を使って、税金にはたくさんの種類があることや消費税の仕組みはどのようにになっているのかを学習した。税金を納めている人は、大人やお店人だけではなく、国民（わたしたち）であることを理解した児童が増えた。



②税金の種類にはどんなものがあるのか調べてみよう（2時間）



インターネットを使って、数ある税金の種類の中から興味・関心のある税金についてどのような税金なのか調べた。

児童が、興味・関心を示した税金は、ゴルフ場利用税、入湯税、たばこ税、ふるさと納税、自動車税などである。

また、明治時代にあったウサギ税についてなどの紹介があった。

発表を聞いた5年生からは、

- ・自動車税は排気量によって納める税金が違うことや、納めないと懲役や罰金などの罰則があることも分かった。
- ・ふるさと納税のことがよく分かった。
- ・お酒の種類によって税金があることが分かった。
- ・温泉に入るのにも税金があると分かった。

などの、感想が出た。

【第3次】

税金の使われ方を知ろう（1時間）

児童が調べた様々税金が、国や県、町などでは、どのように使われているのか毎日小学生新聞と「わたしたちのくらしと税金」を使って学習した。

小学生も払う消費税 8%→10%へ

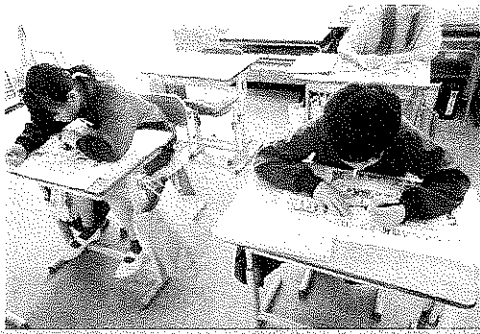
増税まで1年ほど、課題は?

消費税ってどんな税?

外国にも消費税はあるの?

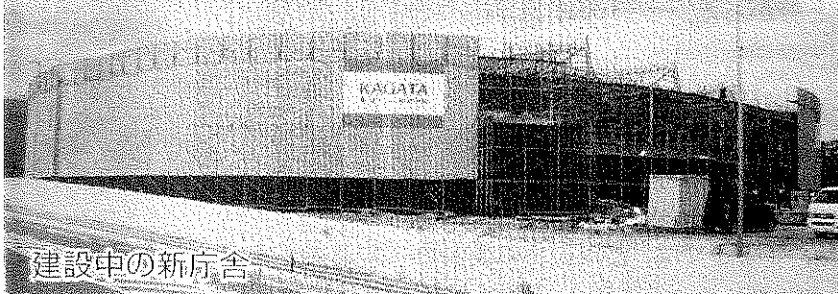
増税するのはどうして?

「毎日小学生新聞」ニュース知りたいんジャー（平成30年10月31日掲載）



導入段階で児童に記事を読ませ学習を進めた。見出しや小見出しを手がかりに消費税増税の理由や日本の現代社会の問題である「少子高齢化」について読み取り、増税について学習した。

展開段階で、以前学習した「わたしたちの暮らしと税金」を基に、消費税が、国と地方に一定の割合で納められていることを確認した。

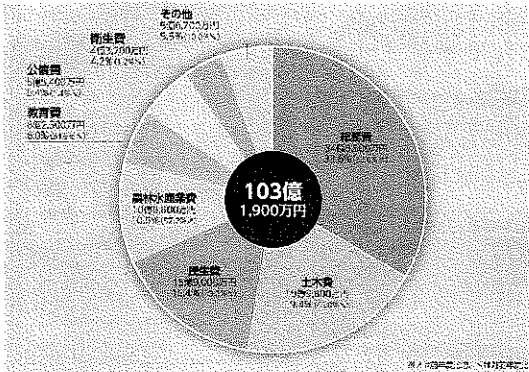


建設中の新庁舎

まず、国の予算の約3割が社会保障費に使われていることや、山元町の新庁舎の建設には国からの災害復興交付金をもとに建設されていることについて学習した。

次に、県の予算は教育費に多く予算を使っていることを、町では

歳出(目的別) 目的別とは… 特定の社会政策(子育て支援、高齢者福祉、災害対策)などの特定のテーマを目的として、(国・県・市)から交付金を受け、町独自の施策を実施すること。



用途別(歳出) 用途別とは… 国・県・市からの交付金を受け、町独自の施策を実施すること。教育費、民生費、土木費、消防水防費、公債費、衛生費、その他。

増税するのはどうして?

社会政策(子育て支援、高齢者福祉、災害対策)などの特定のテーマを目的として、(国・県・市)から交付金を受け、町独自の施策を実施すること。

2018年度 国のおよの半の使途

用途別	割合(%)
社会保障費	30.0
教育費	26.7
民生費	14.9
土木費	9.6
消防水防費	10.5
公債費	1.8
衛生費	2.2
その他	7.5

10億689万円を可決

一般会計予算総額で113億2548万円に

提出議案の説明

補正予算概要
今回の補正予算は、一般会計のみの予算で、当初予算を替換予算として補成したことから、町長公約を踏まえ、政策的予算の肉付けを行い、その他補助事業の内示など当初予算の段階で予算措置ができなかったものについて、予算となります。

第2回定例会は6月14日(水)午後2時(報告契約4件、補正予算1件)開催予定です。一般質問は、2日間開催予定です。

施設の管理維持、災害復旧に関する道路や河川工事、公園整備などに使用されていること資料を使って学習した。

さらに山元町議会だよりをもとに、一般会計補正予算の中の教育費から、町内の各小中学校にエアコンを設置するにあたり調査費250万円の

予算が可決されたことを学習した。

展開の後半では、国・県・町それぞれの予算を国民が選挙で選んだ議員が話し合いを通して決めていることを学習した。児童にとっては、国会議員や県議会議員などは遠い存在であり、身近なことでは

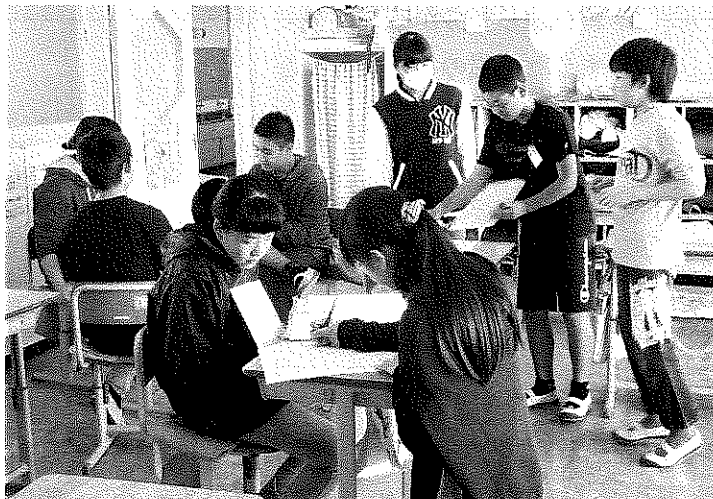
町長公約の主な予算	
保健センター改修事業	1,494万円
新規 水産業漁具整備補助事業(噴流式マンガ)	1,732万円
小・中学校エアコン設置基本計画業務	250万円
総計	3,476万円
定住促進事業	6,648万円
お試し移住・交流推進事業	1,669万円
総計	8,317万円
婚活支援事業	4,695万円

なかったようである。しかし、町議会議員の話をしたところ、児童の中には知っている町議会議員の名前をつぶやく児童の姿も見られた。

終末段階では、学習を振り返って、気付いたことを自分なりの言葉でまとめることに取り組んだ。

●学習を終えての振り返りの感想

- ・税金はとても大切だと思いました。
- ・税は、日本のために役立てられていると思いました。
- ・いろいろな税金の名前を知ることができました。税金はわたしたちの教科書にも使われていることが分かりました。
- ・いろいろな税金があることに気付きました。もっと税について知りたいです。
- ・税が身の回りの多くで使われており、税がなくなってしまうたら生活ができなくなってしまうということで、税はとても大切なものだったのだと改めて感じました。
- ・税は、とても重要なことが分かりました。税に助けられている人も多いのではないかと思います。
- ・消費税があるとももの値段の計算が難しいなと思っていました。でも、その消費税はわたしたちのためにあったことが分かりました。
- ・税にはたくさんの種類があることが分かった。税金は国民全員が納めていて、それは人々のくらしのために使っているということが分かった。
- ・税はなくてはならないものだと思います。税金を納めるのはちょっと嫌だと感じますが、ないとすごく困ると思います。
- ・税金はたくさんの種類があり、税金を納めることは、わたしたちのためになるものなので、大切さを感じました。びっくりしたのは、ふるさと納税です。税金を納めて返礼品をいただいているのでびっくりしました。
- ・これから消費税が上がるのは嫌だけど、どうして税金が上がるのかを知って、仕方がないことだとも感じました。
- ・税金が上がることはとても残念だけれど、国のためならしょうがないと思いました。税が国にとってとても大切なものだと分かりました。
- ・消費税が上がることを詳しく知れてよかったです。上がったとしても人のために役立つように使ってほしいと思います。



- ・今回の増税があるように、これから先も税や税の仕組みが変化するのかなと思いました。税金は増えたとしても、医療費や教育費などに変わるのであれば問題はないと思いました。
- ・消費税が変わる理由がテレビでは分からないことも、新聞学習を通して分かることができました。税のことをもっと知りたくなりました。



◎税に対する事後調査（平成30年度 6年1組 男9名 女8名 計17名）

平成30年11月実施

質問1 「税金」という言葉を知っていますか。	はい17名	いいえ0名
質問2 税金についてどんなものがあるか知っていれば書いてください。（複数回答可）	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこ税14名 ・消費税13名 ・自動車税9名 ・酒税7名 ・入湯税6名 ・ふるさと納税5名 ・復興税3名 ・関税2名 ・相続税2名 ・住民税2名 ・所得税 ・狩猟税 ・ゴルフ場利用税 ・森林税 	
質問3 納めた税金はどんなことに使われていますか。（複数回答）	<ul style="list-style-type: none"> 国のため 町のため みんなを助けるため（子どもの医療費・介護・生活保護） 公共の施設（国の建もの 学校 病院 公園） 国の借金返済 ライフライン（道路工事 信号機） 教材・教科書 補助金 など 	

7 研究の成果と課題・感想

（1）成果

- ・調べ学習を行った後に、発表を行い、情報を共有することができた。
- ・インターネットを使って調べることで、様々な税金の種類に知ることができた。
- ・税金が国・県・市町村の財源となり、わたしたち国民のために使われていることや暮らしを支えてくれていることを知ることができ、税金は大切なものであると考える児童が多くなった。
- ・国・県・町などの行政がわたしたちの生活に関わり、よりよいくらしのために働いていることにも気付かせることができた。

（2）課題

- ・税金の学習をより身近なものにするために、家庭へのインタビューなども取り入れればよかった。
- ・地域の人材（町の税務課の方や議員さんなど）を招いた学習なども取り入れると、より税の使われ方に対する深まりがあったと考える。
- ・今年度、年間指導計画の中に一時的に租税教育を位置付けた。しかし、本校の総合的な学習における年間計画の中にはないものなので、今後も位置付けていくためには校内で十分な検討が必要であるとする。

(3) 指導者の感想

今回の租税教育研究発表に当たり、児童に対しどのような単元構成にすれば、興味・関心をもたせることができるか、また、税の大切さを実感させることができるか悩むことも多かった。学習時間の確保についても、課題は残った。

しかし、児童と税について学習を進めていく中で、国や県・町の行政機関や議会は、わたしたちの暮らしをよりよいものにするために、話し合い、何を優先すべきか考えてくださっていることに気付かされた。わたしも納税者の一人として、さらに自覚して国や県・町の行政のあり方を見つめていきたいと感じた。

